

注目企業

ふくい産業支援センターの事業や施策を活かし、前向きにがんばる県内企業の取り組みをご紹介します



看板代わりの巨大な提灯がポイント。写真左奥に改装した蔵が続きます。

坂井市三国の地で、創業230年になる老舗提灯店のいとや。土台から絵付けまで一貫した製造にこだわる同店が、このたび「ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業」の補助金を生かして蔵を改修し、2階を体験工房『三国提灯いとや工房』としてオープンさせました。絵付け体験を指導する3代目の小島まりや氏と、同店の代表であり父の畑峰雄氏に、ここに至る想いと取り組みについて伺いました。

体験工房への夢 補助金申請への挑戦

工房へ改修した蔵の前に、新たに設置された高さ約2mの巨大な提灯。石畳の街並みになじむ、同工房の看板となつていきます。「夕方には灯りがともつて、通りが良い雰囲気になるんです」と話すところ、三国湊全体の活性化への想いを峰雄氏は抱いています。「10年前に比べて人通りも多くなりましたし、ジェラートやガラス、雑貨店、お惣菜など若い世代のお店も増えてきました。三國會所が中心になって長年やってきた成果ですね」。

同店も街の活性化の一助になればと、まりや氏が6年前から始めたのが提灯の絵付け体験でした。「思い出を形に残せるもの、親子で体験できるものがいかなと考える始

市内の保育園・幼稚園にも配布するなど裾野を広げていくと前向きです。

地域に根付いた店にさらなる展開への想い

市内の病院で勤務しながら、空いた時間に店の手伝いをするうち、「このまま歴史を絶やしたらあかん!」と思うようになったと、提灯づくりの世界に入るきっかけを話すまりや氏。元々ものづくりが好きで手は器用だったものの、一通りの工程を習得するのに3年以上かかったとその奥深さを語ります。

次の一手として、それら提灯の世界をさらに本格的に楽しめる体験メニューや、越前



畑 峰雄 氏



小島 まりや 氏

いとや提灯店

<http://itoya-chouchin.jp/>

所在地：坂井市三国町南本町2丁目3-29

電話番号：0776-81-3574

代表者：畑 峰雄 氏

従業員数：3名

事業内容：提灯製造、販売、修理等

体験工房は子供会や観光客などから予約も順調に入っている模様。「体験の感想もノートに残していただいています。人との出会いや夢が広がって、本業にも力が入ります」と峰雄氏も笑顔をみせます。今後パンフレットを準備し、



絵付け体験の感想を残したノート。感謝の言葉が励みになると言います。

この事業を活かしました

ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業

県内小規模老舗企業の事業継続や地域に親しまれた商品、サービスの次世代への保存を図るため、老舗企業の新たなチャレンジを応援します。

対象者

- ・福井県内に主たる事業所を有する小規模企業者
- ・創業から30年以上を経過しており、主に一般消費者に対して商品、サービスを提供する方
- ・自社独自の商品を製造・加工・販売、サービスを提供されている方

対象経費

店舗改装、設備導入にかかる経費 等
補助率：2／3以内（上限300万円以内）
※採択数により変更する場合がございます。

【お問い合わせ】

（公財）ふくい産業支援センター

ふるさと産業支援部 資金支援グループ

TEL：0776-67-7406 FAX：0776-67-7429



今でも全て手描きにこだわった同店の提灯。古い提灯から図柄を写して1点1点仕上げていきます。

和紙とコラボした福井・三国ならではのオリジナルデザインの照明づくりなど、やりた

きたいですね」と語るまりや氏。実現に向けた拠点として、まずは体験工房とカフェを地域にしっかりと根付かせていきたいと考えています。



カフェのインテリア。蔵の味わいを程よく残し、おしゃれで落ち着いた空間に。

提灯絵付け体験で地域を盛り上げる

いとや提灯店

めたのがきっかけです」。当初は手狭な店先での体験だったため、人数など制約が多かったこともあり、専用の体験工房はお二人の夢だったと話します。そんな折、「いとやさんに、もってこい」のものがありますよ」と、付き合

れまで事業計画書といったものがなかったですし、『一度作ると融資などにも役に立つ、今後のためにも一度挑戦してみよう』と背中を押され、銀行さんにも手伝ってもらいながら応募にこぎ着けた。具体性と想いのつま